

第1回委員会でいただいた意見

■ 労働環境の改善

- ・ 職場も年齢やライフサイクルに合わせたいろいろな働き方のパターンを認めるべき。
- ・ 奈良県看護協会看護労働環境改善委員会では、3年計画で病院や施設等に職場環境改善事例についての調査と好事例の横展開に取り組んでいるところ。県とも連携して進めたい。

■ キャリア形成の支援

- ・ 若い看護師に対して自分の生活パターンに合わせて訪問看護や学校教員などの仕事の選択肢があることを教える必要がある。
- ・ 資格を取得した看護師がその資格を活かして活躍できる環境を整備すること。
- ・ 導入予定のマイナンバーと看護師資格の連携を見据え、生涯を通じたキャリア支援のため、看護師個々のキャリア情報がナースセンターに提供されるようインセンティブ付与等を検討すること。

■ 職場風土・意識の改善

- ・ 看護師が独自で看護や医療を考える力が弱い。自律的な創造力をどう養っていくか考える必要がある。
- ・ 看護学生の頃から医師の指示待ちにならないようにという教育をしていく必要がある。
- ・ 「チーム医療」という意識を浸透させる必要がある。
- ・ ミニドクターを目指すのではなく、看護の専門職だという意識を持たせるべき。

■ その他

実態調査について

- ・ 個人が組織と関係なくWEBから自由に回答してもらう調査手法は、実施する意義がある。

地域との関係について

- ・ 看護だけでは患者の全ての面倒をみるのは不可能なので、地域で支えられる医療を目指し、地域の方々とうまく連携できないか。